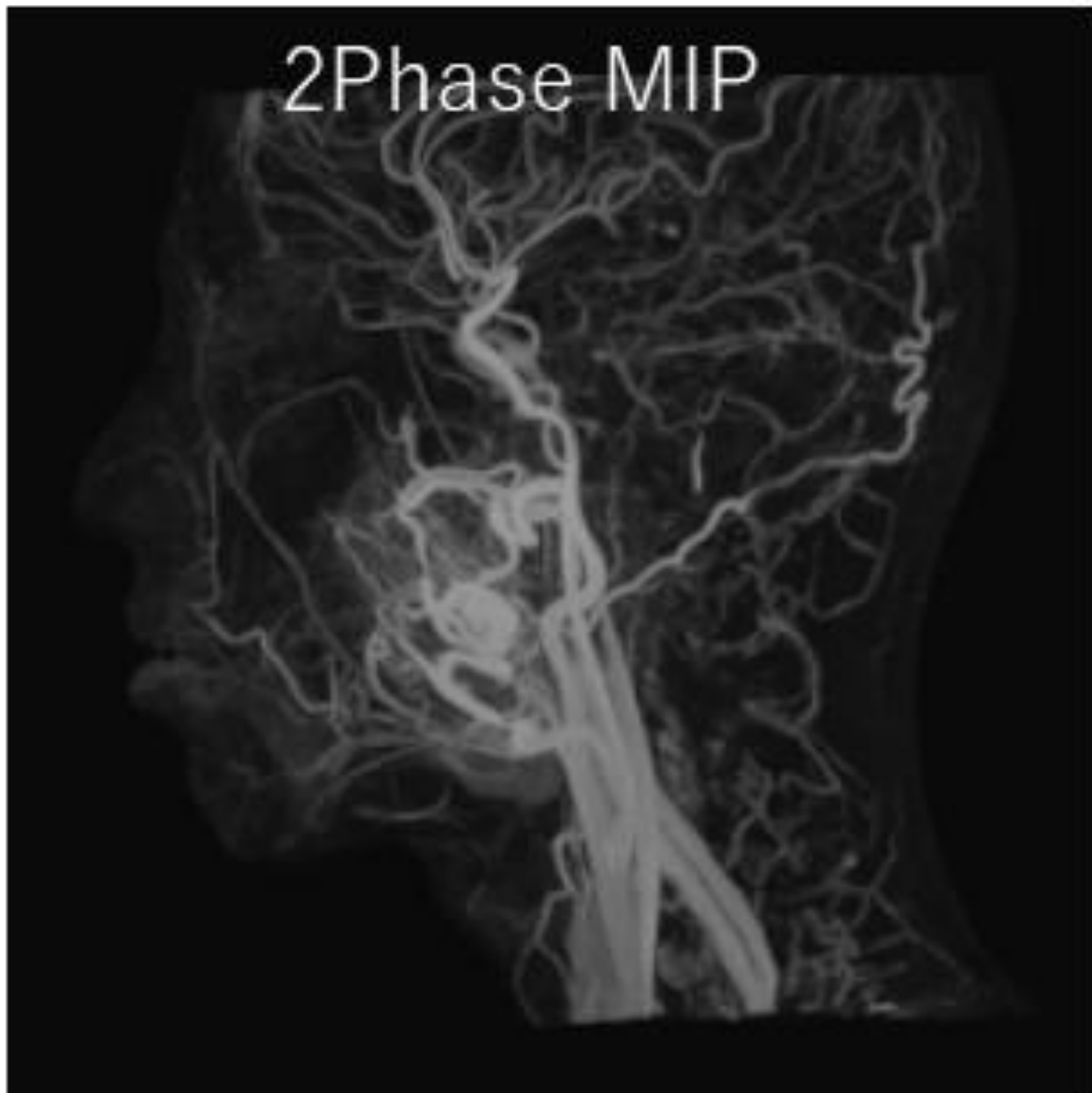
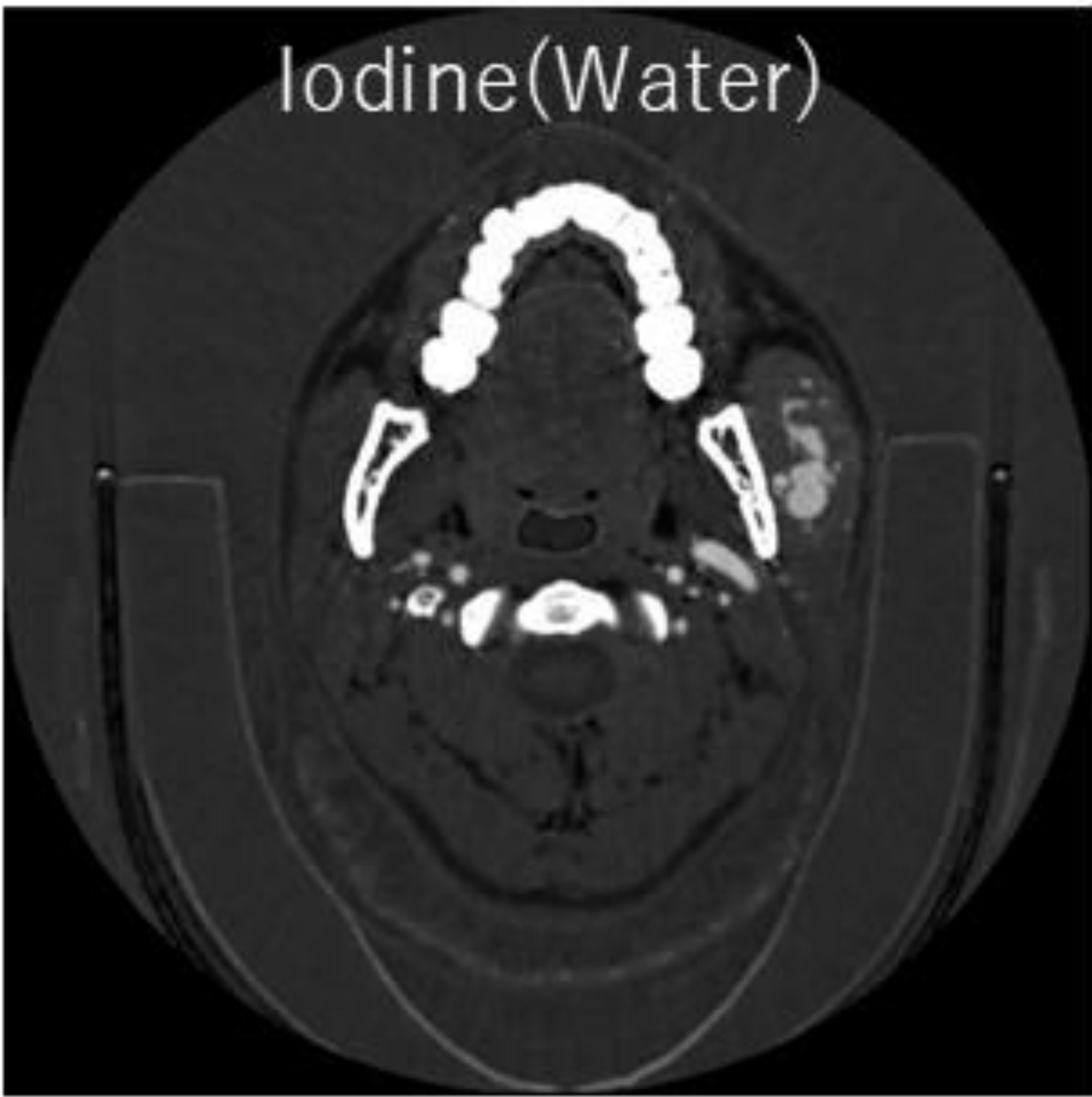
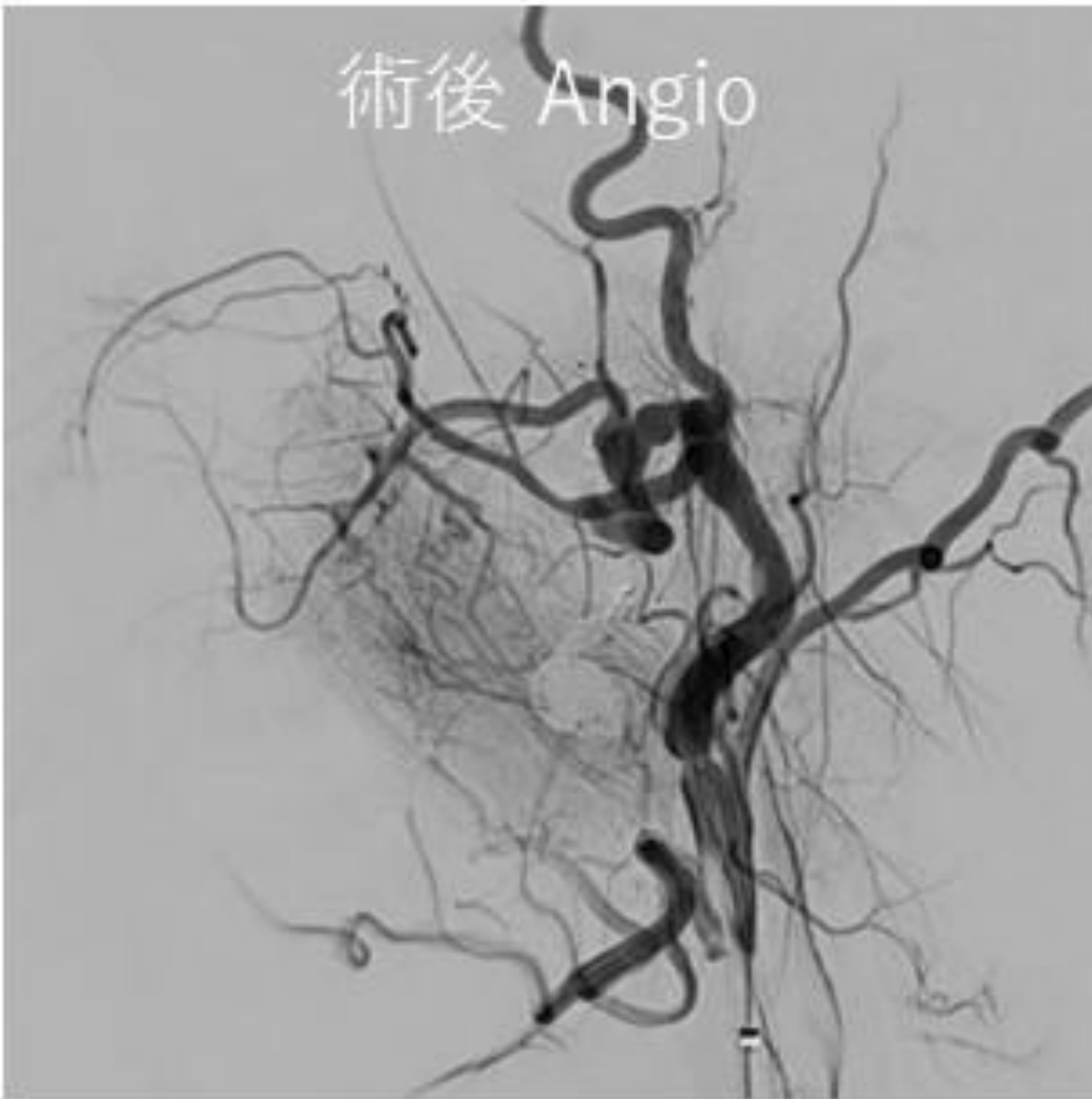
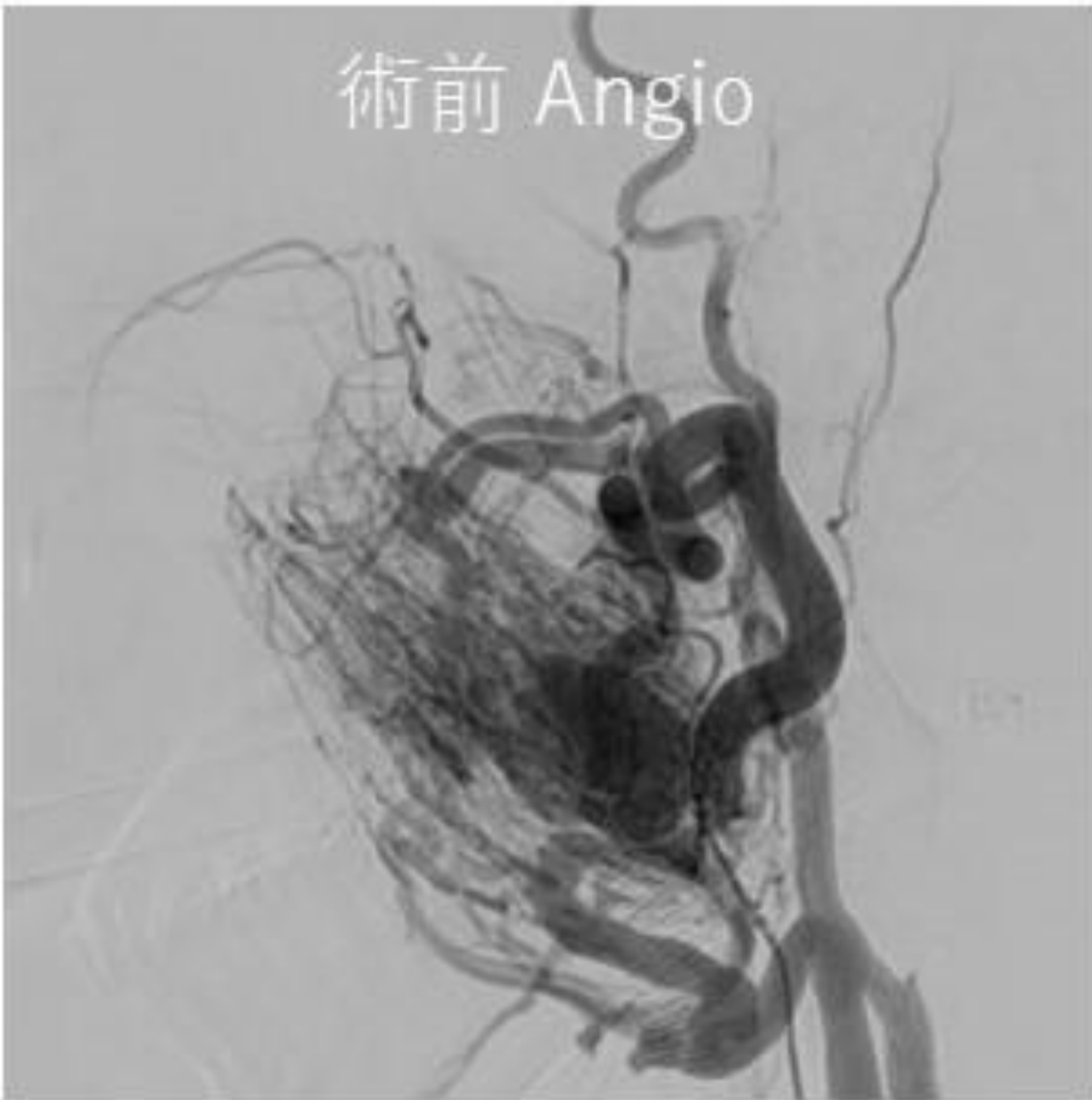
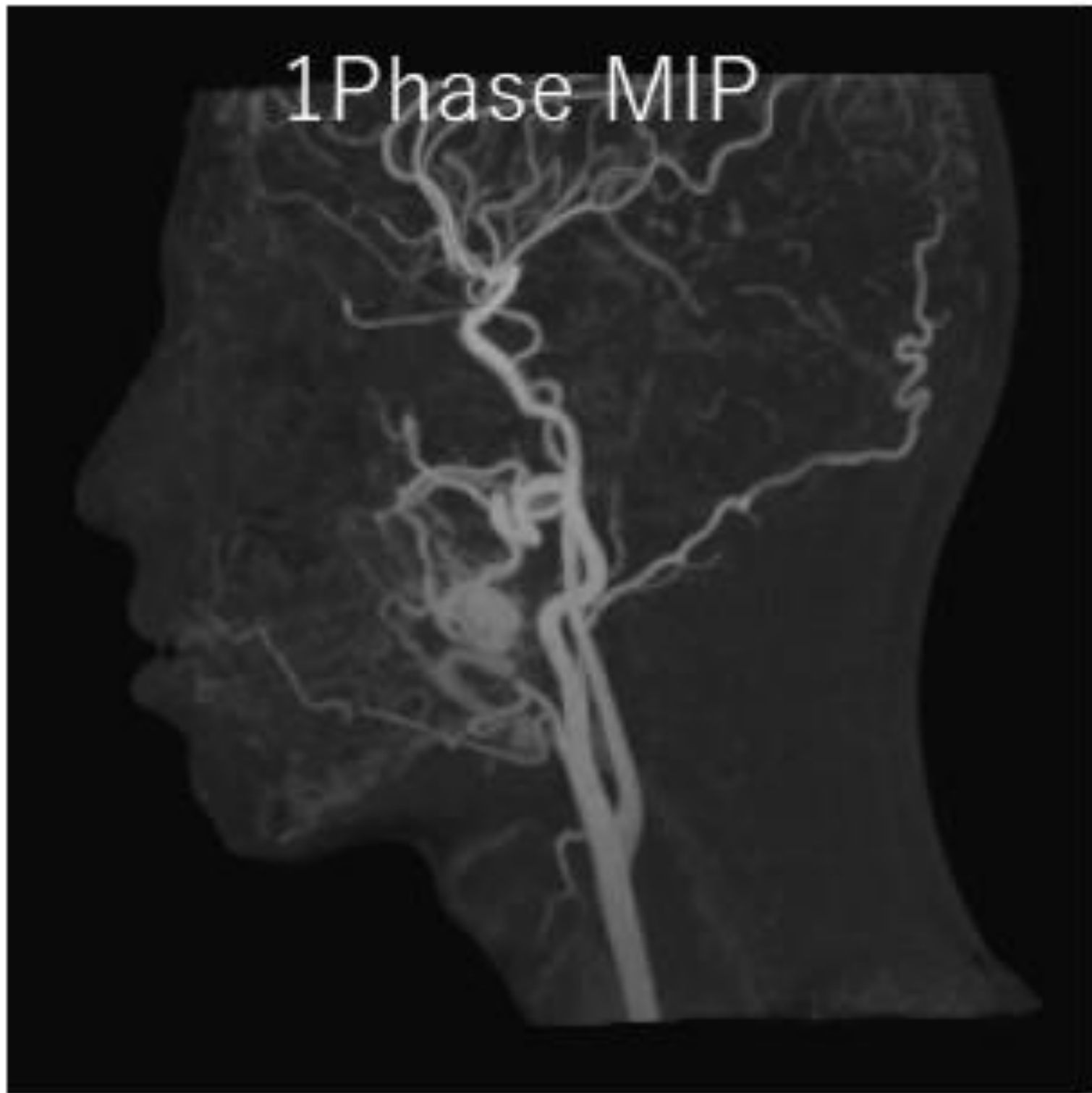
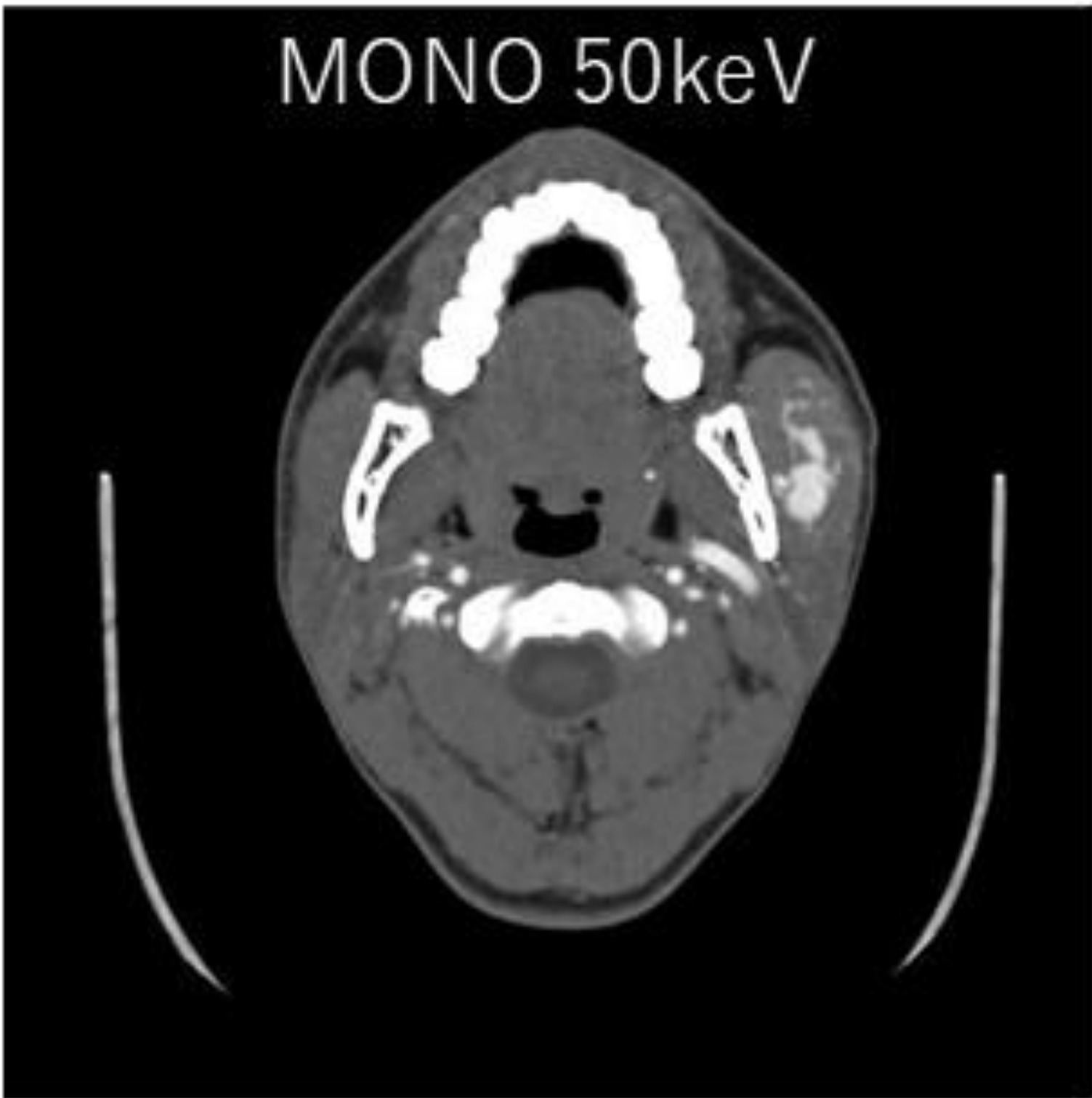


DECTを用いた左側咬筋末梢血管奇形の術前CT



【画像の説明】

低エネルギーレベルのMONO画像でのコントラスト増強は、通常の120kVp(約70keV)を基準とすると、50keVでは約2倍のコントラストを得ることができる。今回の症例は血流が速く、撮影タイミングがシビアになると予想された為、テストインジェクション法を用いてDECTで撮影を行った。超早期相で低keVを使用することでfeederを表現することができた症例である。

【使用機器】

Revolution CT (GE)
デュアルショット GX7 (根本杏林堂)

【撮影条件】

kV	mA	Thickness	NI	Detector Coverage	Pitch	rot
GSI	GSI Assist	2.5mm	6	40mm	0.516:1	0.5